

地域の神社で、映えています

あさげ新聞



右の写真は、泰阜の南宮神社に祭られた藁メンバー作製のしめ飾り

【八月の主な活動】

1. 稲作事業

- ・土手、畦の草刈り
- ・消毒（カメムシ・いもち病予防）

2. 園芸事業

- ・夏野菜の収穫、包装、出荷
- ・消毒、追肥、整枝、誘引
- ・秋野菜畑の耕起、畝づくり
- ・秋野菜の種まき
- ・ブロッコリーの定植

【ほおずき栽培】

- ・収穫、箱詰め、出荷
- ・圃場の片付け
- ・【とうもろこし栽培】
- ・三期分の収穫、出荷（甘太郎）

・三期分の収穫、出荷（あんみつ姫）
・ゴールドラッシュの収穫、出荷

3. 薬草事業

【センブリ栽培】

- ・一年草畑の草取り
- ・一年草のさび病対策

4. 藁細工事業

- ・福縄づくり
- ・泰阜神社しめ縄づくり
- ・飯田市丘のうえ朝市参加
- ・南信州地域資源交流会参加
- ・水引ワークショップの開催

5. その他

- ・ナノバブル灌水キャベツ定植
- ・キュウリの漬物、個人販売
- ・ビニールハウスの側面自動巻取装置の取付け（全棟）

稲作事業

八月二十三日、ドローンによるカメムシ、いもち病の消毒を行いました。比較的大きな田んぼ六枚に散布し、作業時間は移動も含め二時間程で終了しました。



園芸事業 ＜野菜栽培＞

今年は道の駅の野菜を充実したいとの想いから、夏野菜を七時から収穫、包装し、道の駅開店の九時までに、店舗に野菜を陳列する作業を休み含め行っています。



また盆休みは、社員の皆さんに三時間の作業協力を頂きました。盆休みの道の駅は人が多く、出荷した野菜は連日完売でした。協力頂いた皆様ありがとうございました。

地域共生推進室 発行
【35号】
2023年9月4日発行
ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com

【左二枚の写真は支援者の仕事ぶり】



秋野菜の栽培に向けて、肥料を入れ畑を耕起、マルチを張りました。



秋野菜第一号としてブロッコリーを定植しました。



＜とうもろこし栽培＞

八月十一日の社員向けゴールドラッシュの収穫を最後に、とうもろこし栽培も全て終了し、圃場の片付けに入りました。



＜ほおずき栽培＞

八月二日、お盆に向けて、ほおずきの収穫、出荷を行いました。圃場の水はけが悪く、枝が小ぶりでした。



薬草事業

＜センブリ栽培＞

播種したセンブリが、ゼニコケの発生から最終的にはべと病に侵され、六割が消滅してしまいました。長野県製薬に状況をご説明しました。圃場が、もと水田が多い中で、今後、極端な高畝や排水研究し、少量の畝から再挑戦し、成功体験を積んでいきます。



藁細工事業

六月の藁細工ワークショップに続き、八月二十六日（土）に水引教室が、阿南町農村文化センターで行われました。



左の写真は参加されました、方々の作品ですが、短時間でここまで作られたのには驚きました。



その他 ＜省力化＞

盆休み前、設備技術の力もお借りして、ハウスの両サイドに、換気の為の自動巻取装置を設置しました。ハウスの温度を計測して、三十度を全開とし、二度刻みの五段階で両サイドのビニールシートを巻き上げたり、下ろしたりします。換気の管理が不要になりました。



＜実験＞

ナノバブルで灌水したキャベツが畑に定植されました。水道水とナノバブルで生育の比較をしていきます。

